



日本映画学校

第21回卒業制作上映会

Introduction



君は何を卒業するのか

若いころ、今いるところを卒業すれば何かなれる、と思っていました。

でも実際に、その場所に立ってみると、何かが劇的に変化するわけではない。あまり以前と変わらない日常が続くだけです。年齢を重ねてきて、どうやらそういうものらしい、と思いはじめたのは、ごく最近のことです。私は何かを卒業したのか、していないのか。

卒業は結局、ひとつの目安でしかない。車で高速道路を走るとセンターラインに現れる「50キロポイント」などと表示してある、あれですね。いまは、まっすぐ前を見て、しっかりハンドルを握るしかない。君たちはいま、ひとつのポイントを通過しようとしているだけです。

卒業制作と、その発表は苦勞の多い、だけど晴がましいうれしい一瞬の心の高揚も感じられる不思議な体験です。自分の企画が選ばれず傷ついてしまった自尊心、なぜ皆が自分のイメージを理解してくれないのかといういらだたしさ、人間関係の難しさ。いろいろなことが複雑に混じりあった季節がいま終わるのだけど、君たちにとって、これはただの通過点なのです。創るとは何なのか、人間とは何なのか、それらについて考えたり試したりすることは、これからも続くのです。

以前に映画の現場で出会った日本映画学校卒の照明部のスタッフと話していたときですが、「200枚シナリオはひどかったなあ、投げ出そうと思いま

理事長
佐々木史朗



したよ、苦勞したなあ」と、遠い目をして、でもとても嬉しそうでした。考えれば200枚のシナリオを書いた経験を持つ照明部スタッフなど、珍しいはずです。

卒業制作も同じで、この学校以外でこの体験はそんなにできるものではない。君たちは作品の発表で学校を去り、学業を終わるわけだけど、何かを卒業するわけではない。

いまはただ、まっすぐ、前を見て。



学校の伝統

日本映画学校の学生の卒業制作作品の水準の高さは定評があり、すでに福岡市総合図書館や広島市映像文化ライブラリーで主要な作品をまとめた特集上映が行われているほどである。劇場で有料公開された作品も少なくない。

水準の高さの理由のひとつには卒業していった先輩たちの作品が学校のライブラリーに保存されていて、学生でもこれだけの高い水準の仕事は出来るし、やらなければいけないという目標になり励ましになっているということがあるのではないかと思う。学生の実習だからまあこの程度でいいんじゃないか、という安易な態度がないのである。

いま日本映画の製作のたいていの現

場に卒業生たちが参加して腕をふるっている。そういう先輩たちの学生時代の真剣な取り組みが学校のライブラリーにたっぷり残されていて、それが見事に伝統を形づくって、学びの基準を示している。ある日突然どこから天才が現れるのではない。こういう伝統が学生たちの努力目標になっているのである。嬉しいことである。

学生の作る映画は、基本的にはプロになる訓練という面を持っている。しかし必ずしもそれだけではない。プロの作品は出資者の意向を無視しては作れないが学生の作品にはそれない。能力や製作費の限界はあるが、商業性を考えて内容が左右されるということがない。そこでときどき、映画館やテ

学校長
佐藤忠男



レビでは見たことがないような内容の作品が現れて、あっと驚くことがある。

べつに奇をてらったわけではなく、みんなをびっくりさせてやろうというわけでもなく、ひとりひとりの学生が自分にとっていちばん切実な問題にこだわって映画をつくと必然的にそうなるのである。私はもともと映画批評家で、古今東西の映画を長年営々と見てきたから、たいていの映画のパターンを知っているつもりなのだが、学生の映画を見て、こんな問題を取りあげた映画を見るのは初めての経験だと新鮮な印象を受けることがしばしばある。だから私は学生の映画を見るのが楽しいのである。皆さんにも楽しんでいただけたらと思う。

映像科作品

軌跡の結晶

ここに公開出来る卒業制作の作品は、みな生き残りを賭けて3年間戦い抜いた軌跡の結晶である。

企画の段階で、アンテナの低さや調査不足、シナリオの未熟さで途中挫折したものは数知れずあった事だろう。また漸くスタッフ編成まで漕ぎ着けても仲間の親和力の欠如、力不足から瓦解した場合さえある。

その中で、必死に葛藤した者だけがここで観衆の前に披露出来る。もちろん全部が及第点と言えるとは限らない。また卒業作品だけが優れていると

は限らない。

第7回を迎えた豪日映画学生フォーラム（シドニー・2008年12月8日）に出品した二年次の短編映画の中にも、優れたものがあった。30分のドキュメンタリー映画「生きるちから」は、会場を埋め尽くした400人の観客から選ばれて、コダック観客賞を受賞し伝統あるトロフィーと賞金まで獲得している。

たとえ短編・中篇映画であっても作品が完成し観衆の前で公開出来ることは、貴重な体験なのである。

眼差しよ、時を越えろ

3年前の春、若者たちは着なれぬスーツに身を包み期待に目を輝かせて「日本映画学校21期生」として産声をあげた。

しかしその眼差しの光はすぐに消灯しかける。「お前の人生が下らないからこんな脚本しか書けないんだ」「俺はどうすればお前たちが傷つくかだけを考えている」「そもそもお前は一体何なんだ!？」友人はもちろん親にさえ言われたことのない罵声に学生たち

はとまどう。あげくの果てに信じていた映画そのものに裏切られそれでも映画作りは待ってくれないという現実。映画、他者そして自己と向き合いその都度彼らは心に汗をかき脳から血を流してきた。

そんな者たちの七転八倒の記録がこの卒業制作作品だ。スポーツの世界ではよく「流した汗は嘘をつかない」と言われる。本当だろうか。映画はいつだって人を裏切ることを私も彼らも

副校長 千葉茂樹



卒業を迎える諸君に言いたい。

これまでは、日本映画学校という温室内での創作活動だった。あらゆる面で指導してくれる講師がいて、面倒をみってくれる職員たちや周辺住民の存在があった。しかし、これからは全ては自分の足で歩いて行かねばならない。

だから仲間たちに声を掛け合おう。「お疲れさま」「ありがとう」そして「また会おう」

日本映画学校は、いつも君たちを応援している。

映像科3年 学年主任 緒方 明



知ってしまった。果たして学生諸君の「痛みの痕跡」はスクリーンに映っているのか？ ぜひ皆様の目で確認していただきたい。と、同時に彼らの目にもぜひ注目してほしい。

3年の歳月はいたいけな若者たちの眼差しを確実に鋭くしたたかなものへと変化させたと確信している。人はこれを「成長」と呼ぶ。卒業おめでとう。



バシャバシャ

技術コースA班

撮影照明コース
音響クリエイターコース
映像編集コース合同

16mm	30min	ドラマ
------	-------	-----

自分の家が嫌になり兄と兄嫁の亜矢子の家で暮らし始める主人公の安希。性格が対照的な亜矢子に戸惑い、苛立ちが募っていく安希。ある日、二人でボートに乗っている時、安希は亜矢子をボートから落としてしまう…。



ナイトツアー

技術コースB班

撮影照明コース
音響クリエイターコース
映像編集コース合同

16mm	30min	ドラマ
------	-------	-----

ふわふわとどこか掴みどころの無い男、太田健。彼は今日も上機嫌に夜の街を彷徨っていた。何という事のない日常、少しずつ変化していく関係。空気のような彼の感情は、やがて言葉のない夜の世界に投影されていく。

<出演>

春田瑠里

天彩音のん

阿部英貴

杉山駿一

鬼塚真澄

滝沢李佳

荒川理央

<統括>

萩原憲治

<学生スタッフ>

監督 小倉秀孝

脚本 野崎真佑子(脚本演出コース)

プロデューサー 伊藤広行

副プロデューサー 成田 遥

助監督 小清水潤 山本貴章

美術 鈴木摩耶 志田俊輔

撮影 小山麻美 有川義孝

伊藤弘明

照明 山村卓也 大塚 博

田村 亮

録音 小島智美 谷津佑一朗

猪狩正人 古山貴士

編集 岐部崇平 成田 遥

志田俊輔 山本貴章

記録 岐部崇平

<アドバイザー>

演出 栃原廣昭

録音 中山隆匡

編集 境 誠一

<出演>

山崎将平

萩 美香

安居剣一郎

川畑麻衣

辺見玲菜

秋田真琴

錫村 聡

<統括>

境 誠一

<学生スタッフ>

監督 菊池智美

脚本 荒武真由子(脚本演出コース)

プロデューサー 岩渕牧人

副プロデューサー 奈良岡武明

助監督 有馬基揮 定信秀胤

撮影 神野誉晃 堀口 剛

戸羽正憲

照明 土田貴文 李 泰勲

笛木雄樹 岡田和実

録音 藤間祐紀 友重卓也

脇坂達矢 住谷吉崇

編集 森 悠輔 有馬基輝

定信秀胤 奈良岡武明

記録 森 悠輔

<アドバイザー>

演出 栃原廣昭

撮影 萩原憲治

録音 中山隆匡



音 色

技術コースC班

撮影照明コース
音響クリエイターコース
映像編集コース合同

16mm	29min	ドラマ
------	-------	-----

鈴木唯(16)と田宮菜緒美(16)はお互い誰にも言えない秘密の感情を抱きあっている。しかし、ある時、唯に彼氏が出来、それが菜緒美の耳に届く。すれ違い、複雑な旋律を奏でだす二人。唯の本当の気持ちとは…？



魚の味

映画演出コース 技術コース合同A班

16mm	29min	ドラマ
------	-------	-----

9年前に父親が失踪し、母子家庭で育った誠。18歳になった誠のもとに、ある日突然父親が現れる。必死に誠に歩み寄ろうとする父親を受け入れることが出来ない誠だが、父親は「一緒につりに行こう」と言い出して…。

<出演>

Agatha
半田 杏
川合将平
根本なお
畠中慶彦
白川聖人
津田昌俊
森 友樹
舘野年央

<アドバイザー>

演出 栃原廣昭
撮影 萩原憲治
編集 境 誠一

<統括>

中山隆匡

<学生スタッフ>

監督 澤田尚樹
脚本 山下大貴(脚本演出コース)
プロデューサー 島田菜美子
助監督 三好真実 碓谷文章
北河布紗子
美術 佐々木恵梨
撮影 小島朋也 近藤昭子
村上考史
照明 小林友幸 森田友和
渡辺 賢
録音 田中広大 片岡竜一
松吉由貴 加藤詩織
編集 岸川俊介 佐々木恵梨
高島 章 武市和子
記録 武市和子

<出演>

諸橋和寛
なかみつせいじ
富田拓実
奥田由美
檜尾健太
矢嶋俊作
池田裕太
中村貴子
外谷 光
服部由衣
白神馨之
染井ひでき

<アドバイザー>

撮影 萩原憲治
録音 中山隆匡
編集 境 誠一

<統括>

緒方 明

<学生スタッフ>

監督 多賀典彬 山崎晋平
脚本 多賀典彬 山崎晋平
山田真史
プロデューサー 南部 礼
助監督 佐藤洋輔 國井克哉
齋木和正 儀保俊弥
制作 長谷川創 大谷真也
長野隆太
キャスティング 山田真史 國井克哉
美術 大槻 輝
小道具 中村裕平
装飾 山岸邦浩
衣装・メイク 木村光利 鎌田真潮
撮影 山村卓也 有川義孝
堀口 剛
照明 森田友和 小山麻美
伊藤弘明
録音 谷津佑一朗 友重卓也
小島智美 松吉由貴
編集 岸川俊介 高島 章
森 悠輔
記録 高島 章



餌付け

映画演出コース 技術コース合同B班

16mm	40min	ドラマ
------	-------	-----

夢も金もない、女にもフラれ何もなくなった男。世間に馴染めず、ストレスを万引きで解消する女。男がバイト先で万引きした女を逃亡させた事で、二人の人生が少しずつ動き始める。不器用な人間達の恋愛物語。

<出演>

島田 快
柳 有美
塚瀬隆行
永井陽子
佐藤秀一郎
岡田蒼生
梅谷麻衣阿
佐々木智秋
西山美海
今井典和
白神馨之
村田有香
寺坂光恵
真砂 豪
杉山直也
反怖雄二
石毛潤子
長塩香津美
藤田千穂

<統括>

鈴木 元

<学生スタッフ>

監督 大城義弘
脚本 大城義弘 菊池竜郎
手嶋茂貴
プロデューサー 山城研二
監督補 手嶋茂貴
助監督 杉山麻理子 西村 済
三室和之 澤 悠人
制作 野間田義夫 新井愁一
飯塚孝信
キャスティング 増田喜彦
美術 大西 望 菊池竜郎
藤松純平 佐藤丈哲
衣装・メイク 伊藤徳子
撮影 岡田和実 村上考史
小島朋也
照明 土田貴文 小倉秀孝
戸羽正憲 渡辺 賢
録音 田中広大 澤田尚樹
片岡竜一 住谷吉崇
加藤詩織
編集 山本貴章 有馬基揮
岩渕牧人
記録 奈良岡武明

<アドバイザー>

撮影 萩原憲治
録音 中山隆匡
編集 境 誠一



きらきら

映画演出コース 技術コース合同C班

16mm	38min	ドラマ
------	-------	-----

二年前に夫を亡くした徳子は閉経を迎える。その娘、由利は、徳子を疎ましく感じていた。ある日、徳子は、趣味で通う、水泳教師の講師に恋をする。久しく忘れていた感覚に生き生きする徳子の異変に、由利は気づき始める。

<出演>

日向明子
菜葉菜
草野康太
大下源一郎
倉持 翼
高木直子
国枝量平
高橋礼恵
外波山文明
五十嵐美鈴
西川太清
くりこ
棚瀬基世

<統括>

サトウトシキ

<学生スタッフ>

監督・脚本 尹 常和
プロデューサー 三嶋龍朗
副プロデューサー 小林弘樹
助監督 苗代祐史 池谷郁生
島田剛平 岡本行司
制作 菊山直樹 津田大輔
望月貴弘
キャスティング 岩村百香里
美術 川島創平 近澤克尚
遠峰路之 吉田尚史
衣装 加藤美香
撮影 李 泰勲 田村 亮
笛木雄樹
照明 小林友幸 伊藤広行
大塚 博
録音 島田菜美子 三好真実
脇坂達矢 猪狩正人
北河布紗子
編集 武市和子 佐々木恵梨
成田 遥 菊池智美
記録 菊池智美

<アドバイザー>

撮影 萩原憲治
録音 中山隆匡
編集 境 誠一



33万ペソの恋

脚本演出コース 技術コース合同

V T R	42min	ドラマ
-------	-------	-----

童貞で無職の新田はある夏の夜、酔った勢いでコロンビア人娼婦のジェシカを買う。ジェシカに癒される新田だが、金欠の為始めたバイト先でかつての想い人・咲子と再会してしまい…。



Wagamama Mestizo

映像ジャーナルコースA班

V T R	58min	ドキュメンタリー
-------	-------	----------

「俺は日本人！だけどブラジル人でもある！」日系ブラジル人二世・石川ホベルトは、MC Beto として自身のメッセージを訴え続けている。二つのルーツの狭間で、悩みながらも這い上がろうと模索する彼の姿を追う。

＜出演＞
堀 晃大
アジェレン・プスケス
宇地原千華
中町 薫
佐藤 皓
藤代和真
高木公介
加来直樹
大分彰子
溝口園枝
伊藤康隆
英保大樹
伊藤和義
外田晃裕
白神馨之
林 寛子

＜アドバイザー＞
撮影 萩原憲治
録音 中山隆匡
編集 境 誠一
技術 浜口文幸

＜統括＞
渡辺千明

＜学生スタッフ＞
監督 堀田孝之
脚本 堀田孝之 荒木三奈
プロデューサー 荒木三奈 谷田有花
佐々木彰信 小清水潤
助監督 外田晃裕 本間淳浩
木村洋輔
キャストینگ 野崎真佑子
美術 猪又ちひろ 山下大貴
衣装・メイク 荒武真由子 橋本 歩
撮影 近藤昭子 鈴木摩耶
照明 神野誉晃 小清水潤
録音 碓谷文章 藤間祐紀
片岡竜一
編集 岐部崇平
記録 岐部崇平

＜登場人物＞
石川ホベルト (MC Beto)
石川小百合
ファビオ・池上・メスキータ (MC Q)
加藤 渚 (Rose)
石川二千乙
Tensais MC's

＜統括＞
千葉茂樹

＜学生スタッフ＞
企画・監督 久我桂介
プロデューサー 小島夏実
撮影 小桜拓也
音声 木村洸二
編集 久我桂介
木村洸二

＜アドバイザー＞
技術 浜口文幸



あるがまま

映像ジャーナルコースB班

VTR	50min	ドキュメンタリー
-----	-------	----------

京都市内に住む一人の女性。彼女は低身長症という障害を持ちながらも、明るく生きている。人と接することに喜びを感じている彼女にも、世間から拒絶された過去があった。彼女が生き続けることにこだわる理由とは…。



永山ウーマン ライフ

映像ジャーナルコースD班

VTR	37min	ドキュメンタリー
-----	-------	----------

高齢化が進む多摩ニュータウン永山団地。かつて「花の団地族」と呼ばれ、主婦たちによる地域活動も盛んだった。団地の歴史と共に生きた一人の専業主婦。彼女には、専業主婦として失ったもの、手に入れたものがあった。

<登場人物>

河添まみこ

河添晋一

もこ・ここ（オカメインコ）

松井良彦

<統括>

千葉茂樹

<学生スタッフ>

企画・監督 南田美紅

プロデューサー 石原たみ

撮影 高嶋俊宏 塩入博之

録音 高嶋俊宏 塩入博之

編集 高濱 智

<アドバイザー>

技術 浜口文幸

<登場人物>

寺田美恵子

住田啓子

<統括>

千葉茂樹

<学生スタッフ>

企画 守屋徳子

蓼原大介

監督 守屋徳子

プロデューサー 越智英輔

撮影 蓼原大介

録音 村上泰信

編集 越智英輔

村上泰信

<アドバイザー>

技術 浜口文幸

俳優科作品

とことん欲する

昨年夏、井土紀州、富樫森両監督に快諾いただき22期生卒業ドラマは動き始めた。

夏休み明けの9月、学生たちとの初顔合せが行われ、同時に33名からを相手にワークショップが実施されたのだが、傍で学生たちを眺めながら、一人一人の顔つきがようやく変わり始めたのを感じていた。勿論、両監督の確かな指導があったればこそだが、「コイツら、やっとな芝居を欲してるな」と。

担任として入学式で出会い、以後1年半余、彼らとつきあいながら、真面目に取り組むが粋からはみ出さない、変なモノを持っているのに自分の中に収まっている、総じて「大人しい独りよがり」という風情に、もどかしさと歯痒さと、自分自身のいたらなさを感じ続けていたのだが、ようやく彼らが見せた欲求の兆しに、期待を込めて「あととことん痛い目にあえばいい」と思った。

苦悩の果てに

出会った時からTには好感が持てた。ポジティブな姿勢、周囲への気遣い、遅刻をしない、愛嬌がある。何かにつけて、すぐ泣く、素直、そして、人一倍芝居をする事が好きな奴。だが、舞台に上がったり、カメラの前に立つと何故か力んでしまう。普段のTが何処かに行ってしまう。

「何かをしなければ」、という気負いが強迫観念となって、彼女を金縛り状態にしてしまうのか？ 何処かにツボはないものかと色々模索してみた。だが、見つからない。本人も頭の中では理解している様子。苦悩、苦悩の日々。

そして、卒業ドラマが始まった。オーディションの繰り返しの末、Tは主役の一人に選出された。クランクインに向けてのリハーサルの中、監督から檄が飛ぶ、「もっと自然に、肩の力を抜いて!」。けれど、かたくななT。最早これまでか…。しかし、奇跡は現場で起きた。そこには、今までとは全く違う生き活きとしたナマのTが居た。スタッフの一人が呟いた、「本当に学生ですか?」。正直、嬉しかった。「全て監督のおかげです」、そう言ったTの目に迷いはなかった。そして、涙も。そう、勿論君一人の力で成せた訳ではない。

俳優科
2年担任
山本隆世



ここに、卒業ドラマ2作品が完成し、両監督、両スタッフ、出演いただいた俳優の皆さんに心から感謝するとともに、上映の後、落ち込んだり、凹んだり、演りたりないと感じたり、いろいろと忙しい22期生諸氏には、再び期待を込め「自分の熱量を信じて、次の役をとことん欲しろ」と言葉を送りたいと思います。

俳優科
専任講師
加瀬慎一



だが、全身でぶつかっていった結果、君自身で花を咲かせたんだと思う。この先、感謝の気持ちを忘れずに、謙虚に、そして、大胆な女優になってもらいたいものだ。Tだけじゃない、そんな現象はもう一つの班でも見受けられた。面白かった。そして、私自身も発見があった。完成後、そんな話を肴に大いに語り合いたいものだ。

最後まで、本気でお付き合い下さった両監督、スタッフの皆様、本当にお疲れ様でした。

ありがとうございました。

俳優科諸君へ贈る言葉

『犀の角』 監督 井土紀州



若く成長過程にある俳優たちと一本の映画を作り上げるという経験は、私にとって得難いものとなった。これまでの私は、シナリオで作り上げた登場人物に、俳優を近づけていくことが演出だと考えていた。登場人物のキャラクターを俳優が生き始めたとき、映画は訴求力を持つことが出来ると信じてきた。だが、今回は勝手が違った。彼らを、登場人物に近づけようとすればするほど、演技から伸びやかさがなくなり、表情や身ぶりはこわばっていきばかりだった。リハーサルの期間中、そんな状況を打破できずに私は苦しんだ。どうすれば、彼らをリラックスさせ、生き生きとした演技を引き出すことが出来るのか？

私はクランクインの直前、大幅に方針を変更した。俳優を登場人物に近づけるのではなく、登場人物のキャラクターを俳優本人に近づけることに決めたのだ。これは大きな賭けだった。下手をすれば、シナリオの持つ世界観が崩れることにもなりかねない。しかし、方針を変更したとたん、俳優たちはリラックスし始め、初めて出会ったころのように生々しい身体を取り戻し始めたのだ。これはちょっと感動的な経験だった。

映画はスタッフもキャストも一期一会だ。同じ顔ぶれが揃うことは二度とない。だが、私はまた彼らと映画を作ることを夢想してしまう。そして同時に、共に駆け抜けた日々を思っ、胸が熱くなる。

『解放区』 監督 富樫 森



「ただ憧れを知る者だけが、我が悩みを分かる」

まだケツの青い若造でまさしく君たちと同じ年だったころ、私はこの詩句に出会った。それはお前はここではない遠くに旅立つ勇氣を持っているか、という問いであった。問いかけられた私はそれまでの勤めを辞め、三ヶ月働いて二万円しか貰えないピンク映画の現場に飛び込んで行った。そして『若い才能の無い凡人が、飛び切りのイイ女に惚れ、遠いところに行きたいとあがく。しかし夢破れて犬のように死んで行く』ってな映画を夢想し続けた。ハイロウズじゃないが、その弾丸は僕の心臓ではなく心に刺さったまま、30年経っても抜けてなかったのだ。今度、その古傷が人目に晒される。

夢想到に血肉を与え、魂を入れてくれた君たちに感謝する。

この作品が君たちに突きつける鋭い問いになっていることを願って。

若さは才能なのだよ。

君たちは本当にどこにだって行ける。

ここが解放区であり、ここから跳べ。



犀の角

VTR	53min	ドラマ
-----	-------	-----

高校生の崇は、同級生らと共に、町に移住してきた宗教団体「カフ・サマージ」に嫌がらせを繰り返していた。仲間からの孤立を恐れ、加担せざるを得ない崇。そんな中、崇は信者である少女に惹かれていく。しかし、その想いは狂乱の事態を招くことになる。

<出演>



櫻井拓也



富岡英里子



森 友樹



田坂啓太



西 史明



榊原清貴



林 寛子



増子愛美



仙田菜々子



明地美沙



桑原 聖



石嵩弘忠



村上達朗



小崎裕基



近藤大地



大石亜衣

小田 篤 渡辺美穂子
加瀬慎一 山本隆世
白石咲子 吉岡睦雄
長宗我部陽子

<スタッフ>

企画・製作	日本映画学校
監督	井土紀州
プロデューサー	山本隆世 加瀬慎一
協力プロデューサー	吉岡文平
脚本	川崎龍太
撮影監督	鍋島淳裕
撮影助手	高橋和博 俵 謙太
照明助手	吉川慎太郎 蟻正恭子
録音	福田 伸
録音助手	森 慶太 田中広大 脇坂達也
助監督	川崎龍太 石毛麻梨子 大木 萌
美術	坂本千斗
美術応援	森田博之 長田青海 藤本国雄 大森博之
メイク	鈴木 彩 増田加奈
記録	久保田貴子
アクション	中瀬博文 中村覚司 大野智文
編集	稲川実希
音楽	野島健太郎
整音	福田 伸
効果	佐藤祥子
仕上げ担当	西條博介
ポストプロダクション	Cinema Sound Works 中山隆匡
制作担当	桑原広考
制作進行	谷脇邦彦
制作応援	松尾 融 大和久健
制作デスク	大西弘幸
スチール協力	伊藤 学
衣装協力	笠原世世泉
新聞記事	瀧口修平
ロケ協力	相模原市役所 相模原市観光協会 (株)首都圏施設サービス 喫茶ビーンズ 伊豆箱根鉄道 富士フィルム株式会社 イメージング事業部 映画部
特別協力	江成登美夫
制作協力	スピリチュアル・ムービーズ
協力	高杉泰美 柴田尚紀 岡本 隆 緒方 明 岡本行司 武井曜司 遠藤圭吾 安藤 章 池谷治義 川田 操 白石 巖 加藤詩織 オフィス童武 旅館みやざき 南多摩運送 ダイイチ葬祭サービス いけや スーパー・マルヤス アテネ・フランセ文化センター ショートストップ スタンスカンパニー 川崎市アートセンター



解放区

VTR	46min	ドラマ
-----	-------	-----

マンションの一室に巣食う振り込め詐欺グループ。使い走りの島は、仲間から誹られながらも、リーダーの桐谷に心酔していた。ある日、階上に住む女・彩と遭遇し、密かに惹かれる島だったが、桐谷の描く最後のシナリオは既に動き始めていた。

<出演>



金子友輝



津田昌俊



荒川理央



住吉健太郎



横山 純



笹反 晃



中田潤平



飯塚直也



大原麻由



服部由衣



進藤杏子



滝沢李佳



松田紗千代



大島 翠



石高由貴



加藤亮介

榊原清貴

舘野年央

勝呂洋介

加瀬慎一

森 友樹

仁村俊祐

チビ

<スタッフ>

企画・製作 日本映画学校

監督 富樫 森

プロデューサー 山本隆世 加瀬慎一

脚本 窪田信介

撮影 中澤正行 (J.S.C.)

照明 今井文寛

録音 永口 靖

整音 深田 晃

編集 太田義則

音響効果 佐藤祥子

助監督 宮田宗吉

制作担当 佐藤圭一朗

衣裳 江頭三絵

ヘアメイク 金森 恵

アクション 中瀬博文 多賀谷渉

音楽 碓 英記

ポストプロダクション Cinema Sound Works

中山隆匡

監督助手 荒川慎吾

撮影助手 江口裕祐

録音助手 猪狩正人 小島智美

木根達也

整音助手 加藤詩織

制作進行 阿部史嗣

制作デスク 大西弘幸

仕上担当 西條博介

撮影応援 堂前徹之 小林尚希

瀬戸詩織

制作応援 桑原大輔 山中 同

演出部応援 大槻 輝 鎌田真潮

儀保俊弥 佐藤洋輔

山寄晋平 山田真史

主題歌 「解き放て」

作詞・作曲：碓 英記

歌：山本忠保

挿入歌 「ただ憧れを知る者だけが」

作詞：Johann Wolfgang von Goethe

作曲：Franz Peter Schubert

歌：鳴原奈美

ピアノ：鳥越里沙

音楽制作協力：藤野智香

撮影協力 木村屋

鈴木商事

柏葉マンション

荻窪タウンセブン

川崎建設

明星大学

東京港埠頭株式会社東京港フェリーターミナルビル

川崎市アートセンター

協力 STAN-S

オフィス童武

ニッポンレンタカーアーバンネット株式会社

エキストラ協力 折原拓也 猪俣 健

海老原晃 久万真路

北田弥恵子 北川帯寛

奥野尚子 中根明日香

大久保美和 有馬英樹



第22期俳優科



あけちみさ
明地美沙

1988年6月27日生まれ
出身：神奈川県
身長：158cm 体重：51kg
趣味：小物作り
特技：動物のモノマネ



あらかりお
荒川理央

1988年12月13日生まれ
出身：神奈川県
身長：150cm 体重：41kg
趣味：アコースティックギター・カフェ
特技：丸暗記・バレーボール



いづかなお
飯塚直也

1988年9月22日生まれ
出身：山梨県
身長：160cm 体重：50kg
趣味：模様替え・服に穴をあけること
特技：柔道



いしじひろただ
石鳶弘忠

1988年4月26日
出身：東京都
身長：173cm 体重：60kg
趣味：自転車・ビリヤード・ジグソーパズル
特技：マラソン・剣道・ネックスpring



いしだかゆき

石高由貴

1988年7月2日生まれ
出身：神奈川県
身長：165cm 体重：53kg
趣味：映画鑑賞・読書
特技：ピアノ・スキューバダイビング



おおいしあい

大石亜衣

1989年2月12日生まれ
出身：千葉県
身長：153cm 体重：43kg
趣味：アングラ雑誌・自己啓発本
特技：反復横飛び・絵画・裁縫



おおしまみどり

大島 翠

1989年1月26日生まれ
出身：神奈川県
身長：157cm 体重：48kg
趣味：ドリーム小説を読むこと
特技：ブリッジ



おおはらまゆ

大原麻由

1989年3月31日生まれ
出身：神奈川県
身長：163cm 体重：50kg
趣味：歌・ネイルアート・カクテル作り
特技：料理・水泳・スノーボード



かとうりょうすけ

加藤亮介

1989年2月4日生まれ
出身：北海道
身長：178cm 体重：62kg
趣味：音楽鑑賞・読書・ギター・映画鑑賞
特技：サッカー・スーツアクト



かねこゆうき

金子友輝

1988年7月18日生まれ
出身：長野県
身長：175cm 体重：58kg
趣味：読書・映画鑑賞・カラオケ
特技：スノーボード・バク転



くわばらさとし

栞原 聖

1988年5月10日生まれ
出身：広島県
身長：173cm 体重：60kg
趣味：柔道・マラソン
特技：お菓子作り



こざきひろき

小崎裕基

1986年9月15日生まれ
出身：神奈川県
身長：174cm 体重：68kg
趣味：読書・映画・落語・サイクリング
特技：タッチタイピング



こんどうだいち

近藤大地

1988年9月17日生まれ
出身：神奈川県
身長：162cm 体重：55kg
趣味：歩くこと
特技：走ること



さかきばらきよたか

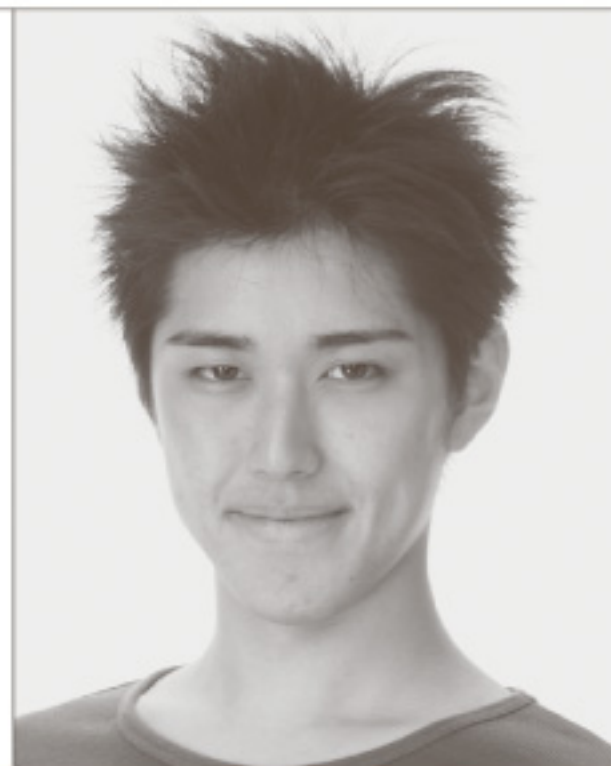
榊原清貴

1988年12月19日生まれ
出身：神奈川県
身長：170cm 体重：60kg
趣味：レゲエ
特技：場を盛り上げること



さくraitaky
櫻井拓也

1988年9月17日生まれ
出身：神奈川県
身長：167cm 体重：53kg
趣味：野球観戦・お笑い・サッカー観戦
特技：野球・腹踊り・モノマネのマネ



ささそりあきら
笹反 晃

1989年3月9日生まれ
出身：群馬県
身長：175cm 体重：55kg
趣味：散歩・読書・スケート
特技：好きな特撮作品について語るこ



しらかわまさと
白川聖人

1988年6月9日生まれ
出身：神奈川県
身長：178cm 体重：75kg
趣味：散策・飲酒・知ること
特技：テニス・ドラム



しんどうきょうこ
進藤杏子

1988年10月29日生まれ
出身：東京都
身長：151cm 体重：45kg
趣味：音楽鑑賞・映画鑑賞・コラージュ
特技：タイピング・クラリネット



すみよしけんたろう
住吉健太郎

1988年1月10日生まれ
出身：青森県
身長：166cm 体重：61kg
趣味：プロレス観戦
特技：ほとんどのプロレス技を体得



せんだななこ
仙田菜々子

1984年4月23日生まれ
出身：神奈川県
身長：164cm 体重：54kg
趣味：プロフィール作り
特技：怖い話が怖くない



たきざわももか
滝沢李佳

1989年2月1日生まれ
出身：東京都
身長：154cm 体重：46kg
趣味：映画鑑賞・映画のチラシ収集・日記
特技：投げられた食物を口でキャッチ



たさかけいた
田坂啓太

1988年6月17日生まれ
出身：和歌山県
身長：170cm 体重：61kg
趣味：スポーツ・イカ釣り
特技：ラグビー



つだまさとし
津田昌俊

1984年5月19日生まれ
出身：愛知県
身長：168cm 体重：58kg
趣味：読書・音楽鑑賞
特技：作詞・作曲・デザイン画



とみおかえりこ
富岡英里子

1988年6月7日生まれ
出身：神奈川県
身長：161cm 体重：49kg
趣味：散歩・ファッション
特技：バレーボール・ヘアメイク・接客



なかたじゅんぺい

中田潤平

1983年4月6日生まれ
出身：青森県
身長：170cm 体重：67kg
趣味：妄想・麻雀・犯罪心理学
特技：一発ツモ・津軽弁



にしふみあき

西 史明

1988年9月1日生まれ
出身：佐賀県
身長：175cm 体重：100kg
趣味：乗り物に乗ること・ゲーム
特技：絵を描くこと・モノマネ



はっとりゆい

服部由衣

1988年5月2日生まれ
出身：岐阜県
身長：160cm 体重：55kg
趣味：料理・博物館・映画鑑賞・飲酒
特技：バレーボール



はやしひろこ

林 寛子

1988年12月4日生まれ
出身：静岡県
身長：157cm 体重：45kg
趣味：読書・ネットサーフィン
特技：30分でおにぎりを30個作る



ましこなるみ

増子愛美

1989年2月14日生まれ
出身：福島県
身長：156cm 体重：53kg
趣味：人間観察・面白いこと探し
特技：バレーボール・サッカー・東北弁



まつださちよ

松田紗千代

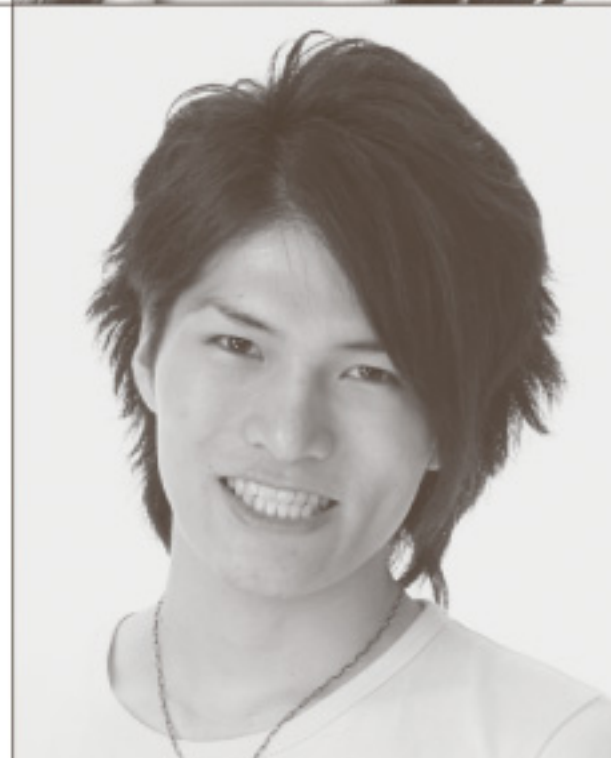
1988年12月21日生まれ
出身：神奈川県
身長：158cm 体重：48kg
趣味：ダンス
特技：英会話



むらかみたつろう

村上達朗

1988年3月27日生まれ
出身：宮城県
身長：168cm 体重：48kg
趣味：映画鑑賞
特技：手の第一関節曲げ



もりゆうき

森 友樹

1988年11月9日生まれ
出身：東京都
身長：173cm 体重：65kg
趣味：ブレイクダンス・バスケット
特技：いつでもくしゃみができること



よこやまじゅん

横山 純

1989年1月2日生まれ
出身：神奈川県
身長：176cm 体重：65kg
趣味：スポーツ全般・散歩・餃子作り
特技：歯並び観察

卒業制作にご協力いただきまして、 誠にありがとうございました。

協 賛 コダック株式会社
富士フイルム株式会社

制作協力 東映ラボ・テック株式会社
株式会社ヨコシネ ディー アイ エー
報映産業株式会社
Cinema Sound Works 株式会社

[バシャバシャ]

碓 英記
さのてつろう
ラ・ボンバ 神奈川
貸ポート たまり屋
ザイーリヨン
平山千絵
鈴木千尋
有限会社アシスト
有限会社映像サービス
小田ホーム株式会社
川崎市シティセールス・広報室
ヨネッティー堤根
川崎市立麻生中学校
鎌倉市立御成中学校
文教堂 向ヶ丘駅前店
鎌倉小町通り商店街
北部公園事務所
井の頭恩賜公園管理所
国土交通省京浜河川事務所
たま日吉台病院
医療法人社団 九折会 中村クリニック
牛垣 嶺
大神田望
菊池未央
小林幸世
田畑千穂
根本瑞規
山本美和子
都立農芸高校演劇部のみなさん

[ナイトツアー]

青猫 @RECO
新井友紀子
原子英恵
菊地 研
依田俊之
加藤 圭
小淵奈津子
野口智文
渋谷孝介
池田裕太
新井由香

額賀太山
柚木綾介
山西弘起
すなっく とんちん館
長沼和成
真鍋智行
本多翔悟
福田佳祐
猪狩正人
藤間家
ユアーズ学園
多摩グリーンライブセンター
フィッシュジャパン
野毛山動物園
ホテル サラサ
村さ来 町田店
横浜国立大学
高円寺ストリート
阿佐ヶ谷すずらん通り
中野三番街
町田 仲見世商店街
八王子 明神公園
株式会社三和プロライト
素人の乱 パルデラマ

[音色]

松山レオ
株式会社 now fashion agency
株式会社ぱれっと
相模原市立谷口中学校
横浜国際女学院翠陵中学・高等学校
神奈川県立麻生総合高等学校
東京農業大学第一高等学校
松崎家
佐々木家
片岡家
小田急シティバス世田谷営業所
スリーエフ下麻生店
田園ポテト
Thunder Snake ATSUGI
アミューズメントパーク ネバーランド2
三上慶子
殿下屋翼

井藤彩加
矢口恭平
齋藤陽子
島田 純
羽立智美
@BONDO
和田菜穂
白神馨之
鈴木直樹
河合絢子
綿末 翔
高橋秀政
森川陽介
山崎広樹
西山竜弘
飯島里絵
鈴木麗乃
小川 葵
茂木勝成
渡辺裕太
岡崎彩加
土屋なつむ

[魚の味]

平尾香奈枝
有限会社アベックス
株式会社 ACT アクト
ニッポンレンタカーアーバンネット株式会社
有限会社飯能ホンダ販売
株式会社トレンド
エビス大黒舎
劇団ひまわり
株式会社アルファセクション
ケイエムシネマ企画
あいでんていてい
鳥井流美江
鶴川地藏尊地藏堂
小菅光子
医療法人和会 武蔵台病院
コーナン 中央林間店
駒澤学園
スリーエフ 下麻生店
有限会社ミタテホーム

タックルベリー 町田鶴川店
中山 茂
社団法人神奈川県トラック協会川崎支部
山一産業株式会社
吉岡慶子
東京溪流釣り人倶楽部
満藤 久
寛 賢一
松村國男

[餌付け]

千葉純一 (O.D.K)
ケメ
オフィス童武
中瀬博文
中村覚司
多賀谷渉
ストレイドッグプロモーション
有限会社 GMB プロダクション
株式会社エヌ・エー・シー
スマイルモンキー
鈴木正子
株式会社インクループ
川崎市民劇場
スーパーマルゴ
株式会社エフ・クライミング
ヒルマ食品
スーパーアワヤ
魯園菜館 喜多見店
GIGGLE
リバーサイド堀越
東清磁業有限会社
新百合 21 ホール
金子兄弟鳩舎
鈴木信義鳩舎
山本雅嗣鳩舎
F.K.D LOFT
瀬野トシ子 (『野鳥の会』会員)
吉崎由紀 (『野鳥の会』会員)
矢作直也
CueCue
BIG TIME
U T A
3びきのこねこ
飯田 俊
矢坂徹朗
佐藤 浩
西村嘉晃
西村 整
西村遥佑
井口暖子
野口泰資
今井敏晴
宮下徳夫
大波多一樹
清水邦夫
山水大貴
鈴木良幸
宮崎 翼

春山優理恵 天方龍之介 北村 慎 福田富夫 株式会社三和プロライト	スタージュエリー スターショップ 本牧サティ店 セブンイレブン 稲城市平尾店 デイリーヤマザキ 多摩永山店 ともクリニック ホテル ソレイユ&ラ・ムーン やるき茶屋 小田急相模原店 有限会社 エーワン ユニクロ 桜木町駅店 横浜市港湾局 横浜市資源リサイクル事業共 同組合 リサイクルポート山ノ内 菊地新太郎 森谷世津子 鳥本雅郎 鳥本英子 築地 居酒屋 月山 酒と肴 きんちゃん 酒類問屋株式会社 椎橋商店 飯島義光 伊藤光 伊藤和義 三本己之吉 山田ロザーナ ホシーナ・ウィニー カミヤ・スウェリ 加瀬仁美 小笠原宏之 安藤 尋 CALGO 茅原哲二 清水春星 GOUPIL AND C The Band Neee Taila 株式会社アルファセクション 株式会社稲川素子事務所 株式会社三和プロライト 有限会社 映像サービス ニッポンレンタカーアーバンネット株式会社	本司有香（文化放送） 大坪 正 ケイタ☆ブラジル 柳瀬 Flavia 智恵美 NPO 法人 ABC ジャパン 橋本秀吉 安富祖美智江 天野鉄人 具志スエリ 愛澤孝一 加藤 恵（川崎国際交流センター） 喫茶アール Pink Big Pig 栗林幸生（移民情報機構） 平野雄吾（共同通信社） 新宿村ライブスタジオ 歌うんだ村浅草店 郡司恵子 JICA 横浜海外移住資料館 明石書店 藤崎康夫 名倉亜希子 宮ヶ迫ナンシー理沙	ふみエンタープライズ 松山大学 都市住宅学会 元山 隆（NPO 法人 福祉亭） 中村由美子（NPO 法人 福祉亭） 今野幸男（多摩ニュータウン映画製作委員会） 長井千代子（永山団地自治会） 南 文憲（ふみエンタープライズ） 多摩市立図書館 多摩市行政資料室
[きらきら] ASID BLOW 城野 萌 有限会社アシスト 株式会社三和プロライト ニッポンレンタカーアーバンネット株式会社 株式会社 infini 株式会社スターダストプロモーション 株式会社文学座 株式会社メインキャストプロダクション 有限会社オフィスまとば 有限会社ケイエムシネマ企画 有限会社ギルド・B T-ARTIST 俳協 長谷川正雄 鈴木慎一郎 株式会社 テクノブラッド ホテル C-LOVE 厚木店 北里スイミングスクール 鶴沼運動公園 湘南藤沢フィルムコミッション 多摩センター ザ・パークウイング 井上資産管理事務局 川崎市立多摩病院 SOUND STUDIO AFTERBEAT ビストロ時代亭 ヨネッティー王禅寺 眞宗寺 川崎霊園 八部公園プール つるかめランド 青葉台店 コザワビル 川崎イトマンスイミングスクール Naoto(ASID BLOW) 有限会社ケイズ葬祭 茨木 保（いばらきレディースクリニック） 多田雄介 長谷川則子 清原久代 バンド練習スタジオUスタジオ 大野るみ 株式会社ホームタウン誠和 才澤孝明	[Wagamama Metizo] Pay-ment S.A.TーSKILL Hiroto da マッスル Roza 島野賢哉 Barravento の皆さん BARBAROS の皆さん 石川 剛 石川・アラウージョ・ハヌジア 石井小洋子 藤田アレシャンドレ 中原 仁 Barbizon27 高野祥子（大泉日伯センター） 稲葉昌太 成田佳洋	[あるがまま] 松井良彦（「追悼のざわめき」） 安岡卓治（「追悼のざわめき」） 佐々木宏（「追悼のざわめき」） 佐野和宏（「追悼のざわめき」） 山本希平（「追悼のざわめき」） 浅田具茂（「追悼のざわめき」） 松浦幸弘（「追悼のざわめき」） 狩生健志 岸川 真 佐野 亨 佃由美子 上野雅和 西中義治 矢島美千代 山口文子 泉谷龍平 衣川博信 三木由也 稲内晶子 松尾奈美 福田千春 藤井大丸 TAVELT 京都大学医学部付属病院 京都障害者職業相談室 居酒屋「味吉」 居酒屋「むぎ」 BAR「剣」 BAR「ろくでなし」 スナック「あん」 ままごとや「ちろ」	[編集人] 新井加代子 大西弘幸 [デザイン] 曾根だいこ [印刷・製本] 曾根印刷 [編集・発行] 日本映画学校 〒215-0004 神奈川県川崎市万福寺 1-16-30 電話：044-951-2511 FAX：044-951-2681 [発行日] 平成 21 年 2 月 27 日
[33 万ペソの恋] 松山レオ エースコック株式会社 アルプスワイン株式会社 東宝舞台株式会社 学生 HOMES ㈱マイカル本牧サティ シネマ・ジャック&ベティ 下高井戸シネマ			



会場：スペースF S汐留
東京都港区東新橋 1-11-16 汐留F Sビル

2/27(金)

13～ 音色
14～ ナイトツアー
15～ バシャバシャ
16～ 永山ウーマンライフ
17～ あるがまま
18～ 33万ペソの恋
19～ 解放区

2/28(土)

11～ 魚の味
12～ 餌付け
13～ きらきら
14～ バシャバシャ
15～ ナイトツアー
16～ 33万ペソの恋
17～ 永山ウーマンライフ
18～ Wagamama Mestizo
19～ 犀の角

3/1(日)

11～ Wagamama Mestizo
12～ あるがまま
13～ 音色
14～ きらきら
15～ 餌付け
16～ 魚の味
17～ 犀の角
18～ 解放区